

シラバス

指定番号 120

商号又は名称：社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解できるように指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	1	3	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持…個人として尊重、アドボカシー、エンパワメントの視点、「役割」の実感、利用者のプライバシーの保護より介護を必要とする人が有する権利を学ぶ。 ・ICF…介護分野におけるICFについて理解する。 ・QOL…QOLの考え方、生活の質について理解する。 ・ノーマライゼーションの考え方について理解する。 ・虐待防止・身体拘束禁止…身体拘束禁止、高齢者虐待防止法、高齢者の養護者支援について理解する。 ・個人の権利を守る制度の概要…個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業について理解する。 <p>〈通信学習課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる「権利擁護の視点」。ICF、QOL、ノーマライゼーション。高齢者虐待防止法。個人情報保護法、成年後見制度。
② 自立に向けた介護	3	1	2	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援…自立・自律支援、残存能力の活用、動機と欲求、意欲を高める支援、個別性・個別ケア、重度化防止について理解する。 ・介護予防の考え方について理解する。 <p>〈通信学習課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援の意味。QOLとADL。個別ケア及び個別性の多様化。介護予防と介護保険。
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権について 人権について身近な問題から、人権を守ることを理解する。 <p>(演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例をとおして、人権を守ることを意味や人権啓発の必要性をグループワークから学ぶ。
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。